



## 新しい1年を迎えるにあたり

会長 宮崎 豊彦



年頭にあたり謹んで御祝詞を申し上げます。

会員園の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと存じます。

昨年を振り返りますと、当協会の活動といたしましては、「東京しごと財団」から「業界別人材確保オーダーメイド型支援事業」を受託した関係で、支援を受け拡大した形での事業展開を行いました。

「TOKYO保育園フェア」は、6月29日にホテルエミシア東京立川、7月20日に新宿住友ホールで開催した他、当協会としては新しい試みとなりますが、9月28日に新宿NSビル地下ホールにて、「TOKYO保育のおしごと相談会」を開催しました。人材確保については、各園共に頭を悩ませているところかと思いますが、時代の移り変わりと共に、求職者の就職活動の形態も日々目まぐるしく変化しています。当協会といたしましても、会員園の皆様の採用活動の一助となるよう、フェアの開催についても時流に合わせて工夫を重ねていくとともに、各養成校との連携をより密にするなどの対策を行っていく必要があると考えています。

第7回となったTOKYO保育フォトコンテストは、会員園から572枚に及ぶ作品のご応募をいただき、各賞を選考しました。また今回も前回に引き続き、会員園の皆様による投票を取り入れ、選考の基準と致しました。受賞作品は、11月15日～16日に、昨年に引き続いて「東京教育専門学校」の校舎をお借りして展示させていただき、合わせて表彰式を開催し、受賞園の皆様を表彰させていただきました。フォト展については、各地区でのキャラバン開催の他、協会主催としては、第2回目となるフォト展を、新宿駅西口イベントコーナーにて、2025年1月25日（土）～28日（火）の4日間で開催する予定です。是非皆様お誘い合わせの上、足をお運びいただければと思います。

また昨年は、全国私立保育連盟の青年会議全国大会の担当を、東京都民間保育協会の青年委員会が担い、9月5日～6日の2日間、新宿の京王プラザホテルと新宿NSビルで開催いたしました。お蔭様をもちまして、約800名の参加者にお越しいただき、大きなトラブルもなく、成功裡に終了することができました。これも、会員園の皆様から、参加者の動員や、協賛広告など多々ご協力をいただいたお蔭とっております。改めてこの場をお借りして御礼を申し上げたいと思います。次世代を担う若い保育者達が、この大きな大会を乗り越えた事は、彼らにとって非常に大きな糧となったと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

国の保育施策の動向としては、昨年11月に三原内閣府特命担当大臣より保育士等の人件費を「10.7%」引き上げ、現状からの大脱却を図る抜本的な処遇の改善を行うことが発表されました。これは、現行の子ども子育て支援新制度において過去最大の引き上げとなります。保育士等の処遇が抜本的に改善され、保育の質の向上につながることを非常にありがたく思います。

2025年は、東京都民間保育協会が発足して18年目を迎えます。これからも、1222カ園の会員園の皆様と協力しながら、日本の将来を支えるすべての子どもたちが、様々な体験を通し健やかに成長していける社会の構築を目指して、活動してまいりたいと存じますので、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。